

りっかかいだより そうふう

六花会だより

爽風

ホームページ <http://www.rikkakai.jp>

第27号

2009/11/09

医療法人六花会

館林記念病院

広報委員会

平成21年度 第二回リスク全体研修について

平成21年度10月 医療安全勉強会 「動画によるKYT」

平成21年度10月の医療安全院内勉強会は、実際に起こった事例を職員が演じた映像を観ながら、「動画によるKYT」というテーマで、各事例の問題点や改善方法などを話し合いました。

多職種で構成されたグループに分かれ“業務上起こるジレンマ”や“多重業務で起こりうるミス”に対して改めて考えることが出来るものでした。

患者さまの要望に答え、より良い医療を提供していくためには、職員の業務の役割を明確にすることや、その中で患者さまにとって一番良い方法を考えることが必要です。様々な職種の立場から意見を出し、話し合うことの重要性を感じる事が出来ました。

今回の勉強会で学んだことを日常の業務に活かし、これからも他職種間で助け合いながら医療安全に努めていきましょう。



Dr.内田写真館

「すすき」



「コスモス」



「初雪の晩秋」

「キジの横断」

秋の風景の中を走るSLの写真を選びました。右の写真でのキジは偶然写っていました。

記・内田先生



患者様の悩みを解決しました！



今までの当院の粥ミキサー(全粥をフードプロセッサーにかけ粒をなくしたものは、粒でむせてしまう方に食べやすいように作られたものでしたが、温度が下がるとベタつきが増し、えん下困難者にとっては食べにくい食品でした。

現在当院では、粥をゼリー状に固め、患者様に食べていただいています。粥に「スベラカーゼ」という酵素を加え、でんぷん特有のベタつき感を大きく改善しました。また、温冷配膳車の温度(65℃)でも溶け出さないのも特徴のひとつです。味は普通のお粥と変わらないため、美味しく食べていただけます。

「スベラカーゼ」を使用した「粥ゼリー」の提供

※ MEMO

2009年2月に厚生労働省より健康増進法施工規則の一部を改定する省令が交付され、4月から施工されました。その中で「高齢者用食品」という区分の名称をやめて、「えん下困難者用食品」へと変更されました。従来の基準は「硬さ(やわらかさ)」だけでしたが、これに「付着性」と「凝集性」が新たに加わり、3つの指標を設けているのが特徴です。

「付着性」とは「はりつきやすさ」のことです。

「凝集性」とは「まとまりやすさ」のことです。



病院理念 「心に残る医療を提供する」

基本方針

1. 地域社会に開かれた病院
2. 当院を利用される方に安全・安心を与えられる病院
3. 常に新しい医療を提供する病院
4. 当院を利用される方達が気楽に利用しやすい病院
5. 当院を利用される方が満足を得られる医療を提供する病院
6. 職員をはじめ当院に関わる人達も満足を得られる病院

